

地域密着型金融の取り組み状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

平成26年 5月

遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取り組みについての評価と今後の対応について―地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を―」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされたことを踏まえ、3か年長期経営計画「えんしん『つなぐ力』発揮2012～地域の課題解決と持続的発展をめざして～」及び「平成25年度事業計画」の基本方針に掲げ、お取引先企業への支援及び地域経済への貢献に向けて取り組んでおります。

今般、平成25年度における取り組み状況を報告いたします。

1. 全体的な取り組み状況

地域密着型金融の全体的な取り組み状況は、3か年長期経営計画「えんしん『つなぐ力』発揮2012～地域の課題解決と持続的発展をめざして～」及び「平成25年度事業計画」の具体的施策に基づき、概ね計画どおり実施いたしました。

重点事項毎の取り組み概要は、次のとおりであります。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

お取引先企業の資金繰り支援や貸出条件緩和への取組などの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、事業先をリストアップのうえ訪問活動を実施し、業況の把握や資金繰り支援に努めたほか、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

また、セミナー、経営相談会及び若手経営者交流会などを開催し、お取引先の経営力強化に努めました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

目利き能力の向上に向けた研修等への職員派遣を継続するなど人材育成に努めました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域金融機関としてネットワークを広げ、専門家、専門機関と連携し、情報集積に努めましたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。

また、小学生及び高校生向け金融教育講座の実施や中小企業大学校旭川校の受講費用助成など社会貢献活動にも努めました。

2. 進捗状況に対する評価

- (1) 計画に掲げた取組みの実施状況は、総じて順調と評価しております。特に、既往事業資金取引先を対象として、5月から6月及び11月から12月に延べ1,414先の訪問活動を展開し、業況の把握や資金繰りについて支援することができたほか、条件緩和についても柔軟に対応することができたものと評価しております。

経営改善支援につきましては、個別の経営相談会を延べ48店舗において開催したほか、不動産賃貸業経営支援セミナー、遠軽地方若手経営者交流会及び金融教育講座を開催し、参加者等から高い評価をいただくことができました。

また、中小企業経営者及び従業員を対象とした、中小企業大学校旭川校の研修受講費用の助成を行い、地域中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価いたします。

(2) 経営改善支援等の取り組み実績につきましては、ランクアップした先は3先、ランクダウンした先は4先でした。

3. 取り組み状況の詳細

具体的な項目毎の取り組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取り組み状況表(平成25年4月から平成26年3月)」及び「経営改善支援の取り組み実績」のとおりであります。

地域密着型金融の取り組み状況表

(平成25年4月から平成26年3月)

項 目	取 り 組 み 状 況
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
創業・新事業支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 アパート創業及びメディカル開業について、ハウスメーカーや医療機器販売会社等から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業資金の平成25年度の支援実績は、アパート創業39件2,555百万円、メディカル創業1件233百万円であります。 ○ アパート創業は、先数、金額とも前年と同様好調と評価しております。メディカル創業資金は、25年度中の実行までには至らなかったものの、進行中の案件が数件あり、活用増加が見込まれます。また、アパート市場が供給過剰の傾向であることや他行との競合が激化していることもあり、継続して優良案件を発掘することが課題であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会議所、商工会と提携した創業支援資金融資制度の活用促進 ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するため、創業支援資金「チャレンジ」を遠軽商工会議所、えんがる商工会、湧別町商工会及び佐呂間町商工会と提携して推進するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度の活用実績は、ソーラー発電新設に係る資金ニーズを主体に7件111百万円の実行実績となり、良好な結果であります。 ○ 今後とも商工会議所及び各商工会との連携を密にし、案件発掘に努める方針であります。
経営改善支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸出条件緩和への取組 平成20年11月7日の金融検査マニュアルの改訂及び金融円滑化法の施行に伴い、積極的に相談をお受けし、既存貸出の条件変更等に対応しております。また、金融円滑化法が平成25年3月末をもって失効となりましたが、引き続き条件変更等により柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞気味及び条件緩和を要望している債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定する等により、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度に貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、132件2,551百万円であります。 ○ 金融検査マニュアルの改訂に沿った活動により、十分な成果があったと評価しており、今後も金融円滑化の観点から、引き続き可能な限り支援を目的とした貸出条件変更等を行っていく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり、経営支援先37先の経営改善指導に努めるものであります。 なお、経営改善支援方法の充実策として、1先を選定のうえ、「経営再生プラン」を選定し、実行中であります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度においては、経営支援先37先のうち債務者区分をランクアップした先が3先あったものの、業況悪化等によりランクダウンした先が4先となり、やや不本意な結果であります。 ○ 平成26年度においても、継続して債務者区分のランクアップを図るため、充実した支援活動を行っていく方針であります。

項 目	取 り 組 み 状 況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 資金繰り支援 既往取引先に対して業況の聞き取りを行い、新たな資金ニーズの把握や金融円滑化に対応した貸出条件の変更等必要な措置を行い、取引先の安定経営を図るものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度においては、2回に亘り既往事業資金取引先を中心とした一斉訪問活動を実施し、取引先の資金ニーズ等の把握に努めた結果、訪問先数延べ1,414先のうち、資金ニーズ有りの先延べ244先、条件変更検討先延べ24先でありました。当金庫から能動的にアクションを起こしたことにより、取引先の資金ニーズに迅速な対応が図られ、また、当金庫に対する信頼が深まったと評価しております。 ○ 当面、地域経済停滞の継続が予想されることから、引き続き業況を把握するための一斉訪問活動を実施していく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談会の開催 当金庫の取引先である中小企業の経営課題や事業承継問題の解決に寄与するため、中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業や中小企業基盤整備機構の事業承継コーディネーターを活用した経営相談会を開催し、取引先の課題解決に向けた取り組みを支援するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度は、延べ48店舗59名（社）の個別相談会を開催し、課題解決に向けた経営相談を行いました。個別相談を受けた取引先からの評価は高く、継続して実施してほしいとの依頼があり、経営相談会の効果を高く評価しております。 ○ 平成26年度においても経営相談会を継続して実施していく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーの開催 当金庫取引先の課題解決や継続的な事業発展に貢献するため、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催し、中小企業経営者の経営改善及び継続的な事業発展を図るものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年6月、札幌市で「今後の賃貸住宅市場の動向について」及び「不動産賃貸業の正しい法人活用と間違えた法人活用」をテーマに、札幌地区のアパートローン取引先を中心に152名に参加いただき、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催しました。 ○ セミナー後のアンケート結果から、たいへん有益であったとの声が多く、十分な成果があったと評価しており、今後も継続して取引先が求めるセミナーを開催していく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「遠軽地方若手経営者交流会」の開催 「遠軽地方若手経営者交流会」は、若手経営者に、講演会及び懇親会を通じて交流の機会を提供し、経営者としての素養と見識を高めるとともに、企業の事業発展に寄与するため企画・開催するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年2月、28名に参加いただき、「中小企業経営者の条件」と題した講演会を行った後、懇親会を開催し、交流の機会を提供しました。 ○ 参加者の評価は高く、継続して実施してほしいとの要望があり、平成26年度においても、継続して実施していく方針であります。
<p>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p>	
<p>目利き能力の向上、人材の育成</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 目利き能力の向上、人材の育成 職員の審査能力の向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度において、北信協が主催する中小企業金融に関する講座に2名の職員を派遣しました。年々、講座を受講した職員が増加し、人材の育成がなされているものと評価しております。 ○ 今後も計画的に職員を派遣し、人材の育成に努めます。

項 目	取 り 組 み 状 況
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
地域活性化につながる多様なサービス提供	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するものであります。また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページへ掲載しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するとともに、「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに公表し、取引先企業に有用な経営情報が提供できたものと評価しております。 ○ 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実に努める方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 金融教育講座の実施 社会人として必要な金銭知識や金銭感覚について学習することにより、貯蓄意義の理解、金融犯罪被害の防止及び多重債務の回避を図ることを目的に、遠軽町内の小学生及び高校生向けの金融教育講座を開催するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年12月、遠軽町内の小学校3年生・4年生を対象に「えんしんマネー教室」を開催し、お小遣い帳の記入方法やお金の使い方などを勉強していただきました。 ○ 平成26年1月、遠軽高校3年生を対象に、「多重債務に陥らないために」と題した講演を行いました。 ○ それぞれ参加した児童・生徒には真剣に話を聴いていただき、講義の内容は十分に伝わったと評価しております。今後も対象先を拡大し、継続的に実施する方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業大学校旭川校研修受講費用の助成 地域の中小企業の事業活性化に資するため、中小企業の経営者や従業員が中小企業大学校旭川校の研修を受講する場合の受講費用を助成するものであります 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度は、6件193千円の受講費用を助成しました。 ○ 中小企業大学校旭川校の講座カリキュラムから希望する講座を受講いただき必要な知識を習得できることから、地域の中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価しており、今後も継続して実施する方針であります。

経営改善支援等の取組み実績

【25年4月～26年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期 初 債務者数	うち 経営改善 支援取組 み先数	(単位:先数)			経営改善支 援取組み率	ラ ン ク ア ッ プ 率	再生計画 策 定 率
			α のうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数	γ	δ			
	A	α	β	γ	δ	α / A	β / α	δ / α
正 常 先 ①	1,686	0		0	0	0.0		-
要 注 意 先								
うち その他要注意先 ②	171	29	2	26	29	16.9	6.8	100.0
うち 要管理先 ③	3	3	0	1	3	100.0	0.0	100.0
破綻懸念先 ④	24	4	1	2	4	16.6	25.0	100.0
実質破綻先 ⑤	11	1	0	1	1	9.0	0.0	100.0
破 綻 先 ⑥	4	0	0	0	0	0.0	-	-
小 計 (②～⑥の計)	213	37	3	30	37	17.3	8.1	100.0
合 計	1,899	37	3	30	37	1.9	8.1	100.0